



KUMAMOTO GREEN Rotary-Club



2013-
2014年度
テーマ

- 国際ロータリー 「ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を」 R.I.会長 ロンD・バートン
- 地区方針 「良き友を得てロータリーを学び奉仕を实践しよう」 R.I.2720地区 ガバナー 赤山 武興
- 熊本グリーンR.C. 「魅力あるクラブにしよう」 熊本グリーンR.C.会長 山下 隆生

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：山下 隆生 ■幹事：河島 一夫 ■会報担当：長野 義文
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@io.ocn.ne.jp

国際ロータリー 第2720地区 熊本グリーンロータリー・クラブ週報

【2014年1月27日】

第1116回
2013-2014年度 第23回
【例会】

1. 開会・点鐘 18:30
2. 食事と交歓



「我等の生業」(ロータリーソング)

会長スピーチ (山下 隆生 会長)

本日は、第四回目のクラブ協議会です。私の会長年度も半年が過ぎました。前期報告と今後の予定を協議することで、前半を反省することにより一層素晴らしい年度となるよう皆様のご協力お願い致します。

今日は私が最近係わってるNPO 法人のお話を致します。以前わがクラブにも二回ほど卓話に来られた「NPO 法人熊本マンガミュージアムプロジェクト」代表を務められている橋本氏のお店が河川改修に伴い立ち退きになると聞き今後の進むべき路をご相談されました。

このままフェードダウンになるのは寂しい限りなので、店の移転または多量の漫画本を管理できる倉庫を見つけようと言う話となりました。

倉庫、移転店舗を探すにあたり協力して頂いたのは、同じように漫画、アニメなどで町おこしをされてる「NPO 法人グランド12」という団体の面々。いろんな情報を持っておられ紹介されたのは浜線沿いの大きな倉庫。一階はお酒の卸問屋さんが入っておられ二階に広い倉庫や事務所、三階には空手道場という物件でした。いろんなボランティ

ア活動をされているオーナーさんで快く安い賃料で協力してもらえました。いろんなボランティア活動の話の中でロータリーの話も出たので聞いてみると平成ロータリークラブの会員さんでした。こういうところでもロータリーの友愛に出会えるとは嬉しい限りで、改めてロータリーの奉仕の精神を感じた次第です。

幹事報告 (河島 一夫 幹事)

■ 報告事項(その他のロータリー関係)

①「ロータリーの友」電子版について
電子版が2014年1月より毎月、月の中頃アップされます。「ロータリーの友」ホームページにアクセスして「電子版」をクリックして下さい。
*ID:rotary パスワード:rotary を入力するとご覧になれます。

②「熊本北RC創立35周年記念例会」のご案内
日 時 2月20日(木) 記念例会 18:30～
場 所 「熊本ホテルキャッスル」
会 費 5,000円

★内輪でのお祝い会です、会長・幹事のみのご案内となっております。

③「熊本東RC創立50周年記念式典」のご案内
日 時 7月13日(日)
式 典 16:00～18:00(熊本ユースシンフォニーオーケストラのアンサンブル演奏あり)
祝 宴 18:00～19:30
場 所 「熊本ホテルキャッスル」2F
会 費 10,000円

卓話
予定

- 2/3 「成年後見制度について」
- 2/10 「創立25周年記念事業フォーラム」(最終確認)
- 2/17 「創立25周年記念祝賀会の合唱団練習」
- 2/24 「熊本グリーンRC創立25周年 祝賀会」

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

■ 例会取止め・変更

<変更>

【熊本西稜RC】

1月27日(月)の例会を、新年会のため、同日18:30よりちゃんこ「やっこ」にて行います。

【熊本江南RC】

2月19日(水)の例会は、同日12:30より阿蘇熊本空港ホテルエミナースにて行います。但し、同日、サイン受付は行われません。

【熊本平成RC】

2月26日(水)の例会は、夜の例会のため、同日18:30より全日空ニュースカイホテルにて行います。

出席報告

(中島 光司 クラブ管理運営委員 (出席担当長))

	会員総数	26名	出席率
1月27日	出席免除会員数	0名	65.38%
	計算上会員数	26名	
	出席会員数	17名	
1月13日	前回の出席会員数		
	メイクアップ数		
	修正出席会員数		
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			

スマイル

(蒼 孝之 クラブ管理運営委員 (スマイル担当長))

- 山下 隆生 君、河島 一夫 君
「「クラブ協議会」です。前半の半年を振り返り、後半の各クラブの運営を充実して下さい。」
- 趙 健次 君、長野 義文 君、栗山 義則 君、大友 利行 君
「石浦会員久し振りです。スマイルします。」
- 松村 秀逸 君
「先週はお休みしてすみませんでした。お詫びしてスマイル致します。」
- 中島 光司 君
「山下会長、マラソンでいえば折り返しを過ぎましたね。後半25周年記念例会等あり、多忙と思います。体に気を付けながら乗り切して下さい。又、25周年記念例会は皆様のご協力を心よりお願い致します。」

●仙波 洋八 君
「小冊子「かみとおり」を拝見しました。商店主の皆さんの心意気が伝わって来ます。益々の商売繁盛を祈ります。」

●蒼 孝之 君
「家内と2人で昨日、福岡モーターショーに行つて参りました。3つの会場で家内と2人で手をつないで参りました。45年振りで手をつなぎまして5時間程廻り、楽しい1日を過ごさせていただきました。」

3. 例会プログラム
「第4回クラブ協議会」
～上半期委員会活動報告
及び後半実施計画について～



R財団委員長 廣坂 彰雄

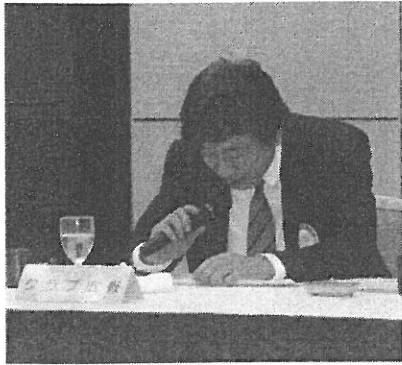


S. A. A. 松村 秀逸

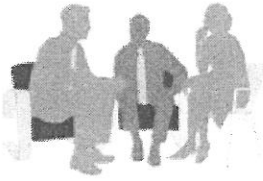


クラブ管理運営副委員長 中島 光司

第4回クラブ協議会



クラブ広報委員長 江上 泰弘



会員増強委員長 山下 佳介



青少年奉仕委員長 石浦 順一



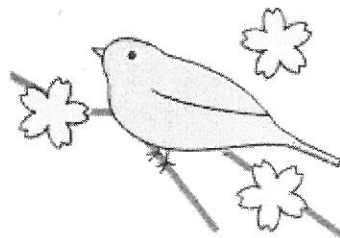
会計 河野 景治



奉仕プロジェクト委員 大友 利行



講評 山下 隆生会長



『ロータリーに輝きを』、ホアン次年度RI会長が呼びかける。

「ただ座って暗闇を呪うよりも、ロウソクを灯したほうがいい」 ロータリー設立の約2,400年前を生きた中国の思想家、孔子の言葉を引用したガイリー C. K. ホアン国際ロータリー会長エレクトは、孔子を「世界で最初のロータリアン」と述べました。孔子の教えに心を動かされたホアン会長エレクトは、2014-15年度のテーマを「ロータリーに輝きを」(Light Up Rotary)とすることを発表しました。

「世界には問題が山積みとなっており、大勢の人が助けを必要としています。しかし、“自分にできることはない”と言って、何もせずにただ座っている人が大勢います。これでは、何もかも暗闇のままです」とホアン氏。世界537地区からサンディエゴ(米国)集まったガバナー夫妻に向けて、次のように語りました。「ロータリーの考え方は、孔子と同じです。ロウソクを灯すのがロータリーです。私が一本、あなたが一本。こうして、120万人の会員全員がロウソクを灯します。力を合わせれば、世界を光で輝かせることができるのです」

テーマを明かしたホアン会長エレクトは、次年度にそれぞれの地域社会で「ロータリーデー」を実施したり、地元ローターアクトやインターアクトのメンバーと一緒に奉仕プロジェクトを実施することによって、クラブが「ロータリーに輝きを」をもたらすよう呼びかけました。「ロータリーをどう輝かせるか、ご自分のロウソクをどう灯すかは、皆さん次第です。自分が何を得意とするかは、ご自身がよくご存じのはずです。地元地域社会が何を必要としているか、どう支援できるかは、皆さんご自身のほうがお分かりになるでしょう」

会員増強の目標についても触れた会長エレクトは、女性会員や若い会員の必要性や、世界の会員数を130万人に増やすという自身の目標について語りました。配偶者や家族、友人をロータリーに誘うよう呼びかけたホアン氏は、「活気あるクラブを築くために、私たちが率先する必要があります。そのためには、まず新会員を迎え入れることから始めようではありませんか」と述べました。

ポリオ撲滅活動の現状については、今の勢いを保てば、2018年までにポリオを完全に撲滅することが可能、と述べました。「ポリオを撲滅すれば(必ずや撲滅は達成できます)、ロータリーが偉業を成し遂げる力を備えた組織であることが実証されるでしょう。また、ポリオ撲滅後に取り組む次なるチャレンジのための土台が整えられるでしょう。何より重要なのは、永遠に続くプレゼントを世界に贈れるということです」

ポリオ撲滅の闘いを続け、地元地域の人々の模範となり、会員基盤を成長させることによって、ロータリーを今までよりも輝かせることができると、ホアン会長エレクトは願っています。『ロータリーに輝きを』、これが次年度のテーマですが、これにはテーマ以上の意味があります。私たちがロータリーでどう生き、どう考え、感じ、活動するかが、この言葉に込められています。すべてのクラブ、地区、そして活動するすべての国で、日々、人々のために何が出来るか。それを表しているのです」

(国際ロータリー・ニュース: 2014年1月13日)

